

漁海況情報

第565号 (令和元年7月10日)

山形県水産試験場

TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379

ホームページ: //www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

・庄内総合支庁水産振興課「月峯」と水産試験場「最上丸」は、それぞれ6月24日と7月3日～4日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層および300m層は「**平年並み**」、50m層～200m層は「**やや高い**」でした。

・6月の地先水温は鶴岡市加茂(水産試験場)は「**やや高い**」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)は「**はなはだ高い**」でした。

・国立研究開発法人水産研究・教育機構は、平成30年7月5日に「2019年度第2回日本海海況予報」を発表しました。
 ○対馬暖流の表面水温は、「**平年並み**」で経過する。
 ○対馬暖流の50m深水温は、日本海北部では「**やや高め**」で経過する。

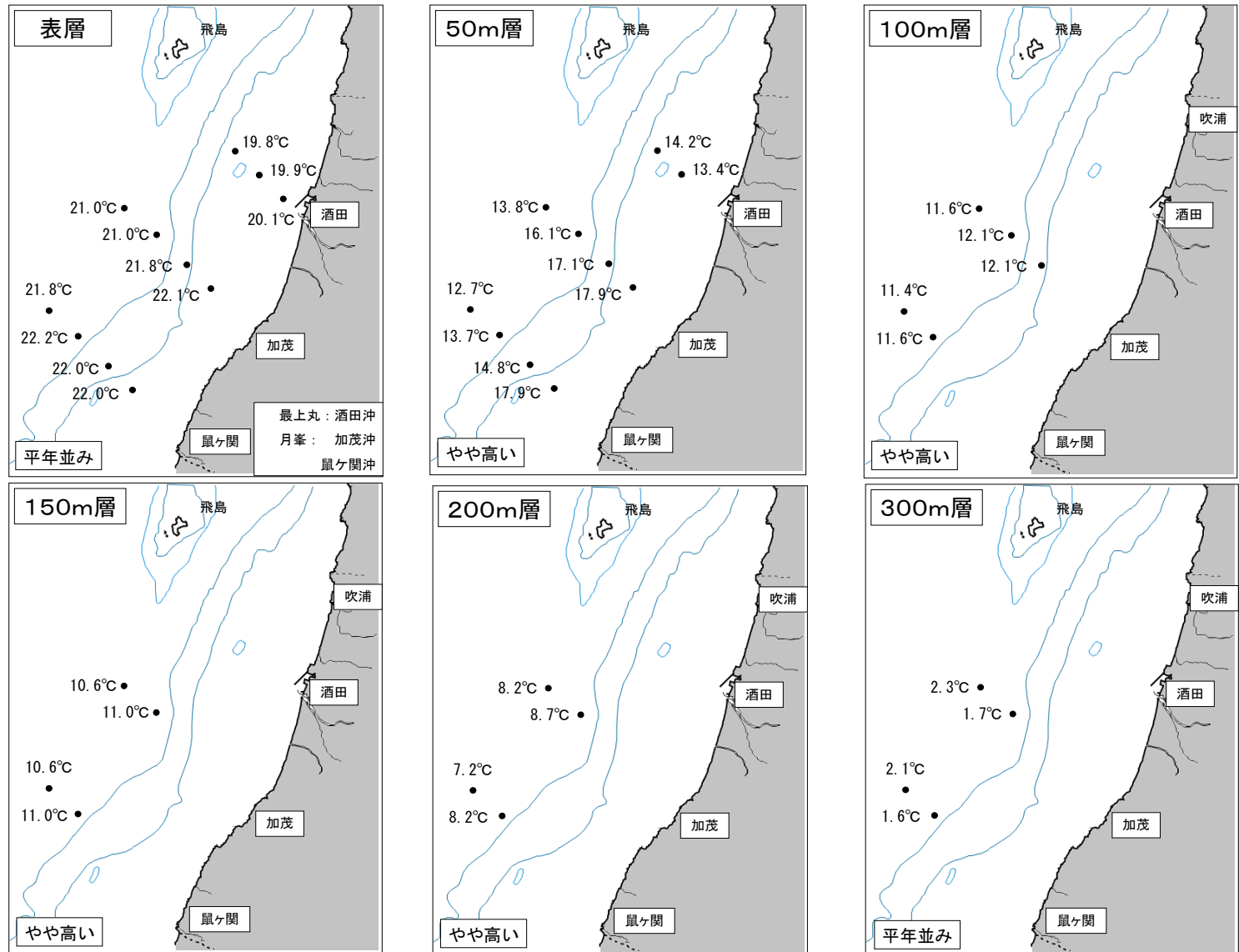
・漁業情報サービスセンター等によると、今年度は大型クラゲの出現量が多いようです。今後の情報にご注意ください。

沿岸25海里定点各層別の平均水温(7月上旬観測値)

単位: °C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	21.4	15.2	11.8	10.8	8.1	1.9
前年差	-1.5	+0.1	-0.7	+0.8	+0.0	-1.0
平年差	+0.3	+1.5	+0.7	+1.2	+0.9	+0.0
評価	平年並み	やや高い	やや高い	やや高い	やや高い	平年並み
(前月評価)	(はなはだ高い)	(やや高い)	(やや高い)	(やや高い)	(平年並み)	(平年並み)

評価の表現: 「平年並み」は約2年に1回、「やや」は約4年に1回、「かなり」は約10年に1回、「はなはだ」は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(6月)

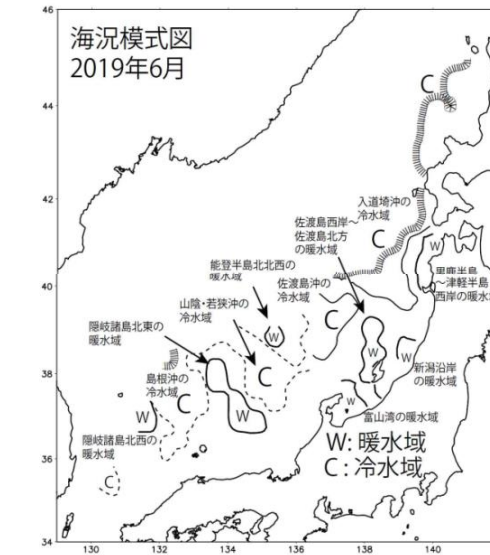
場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	20.5	+1.0	+0.9	やや高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	19.8	+2.1	+1.6	はなはだ高い

1. 2019年度第2回日本海海況予報

(国立研究開発法人水産研究・教育機構)

7月中旬～9月までの日本海海況予報は以下のとおりです。

- ・対馬暖流の表面水温は、「平年並み」で経過する。
- ・対馬暖流の50m深水温は、日本海西部では「平年並み」、北部では「やや高め」で経過する。



2019年7月中旬～9月の海況

(北部日本海周辺)

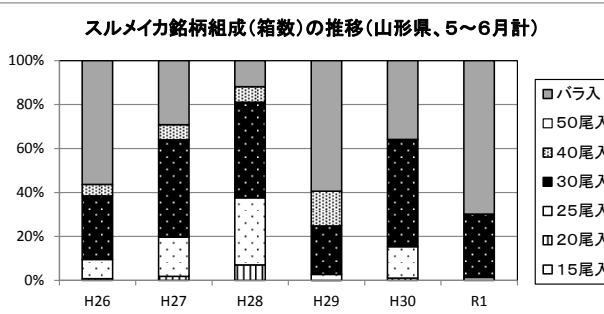
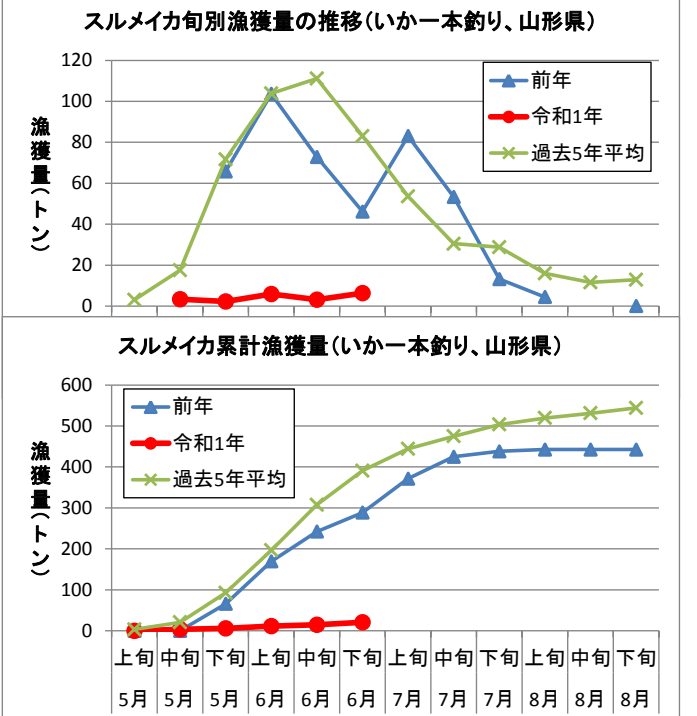
- 能登半島北北西の暖水域は勢力を拡大しつつ東進し、能登半島北方に分布
- 富山湾の暖水域は北東に進み、消滅
- 佐渡島西岸～佐渡島北方の暖水域は北東に進み、山形西方～男鹿半島西方に分布
- 新潟沿岸の暖水域は北上し、消滅
- 男鹿半島～津軽半島西岸の暖水域は弱体化しつつ北上し、消滅
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく離岸
- 入道崎沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく離岸

2. 沿岸スルメイカ漁(いか一本釣り)の状況

5～6月の本県のスルメイカ漁獲状況は以下のとおりです。

- ・出漁のべ隻数: 97隻 (前年比18%、平年比16%)
- ・水揚漁獲量: 20.9トン (前年比7%、平年比5%)
- ・魚体サイズ: 6月下旬ではバラ入が主体となっています。

- ・7月8日現在の主な漁場は、能登半島西海岸となっており、北部日本海にまだ漁場が形成されていないことが、不漁の主な原因となっていると考えられます。



3. 大型クラゲ出現情報

漁業情報サービスセンターによると、今年度は大型クラゲの出現量が多く、7月5日現在で、長崎県から石川県の広範囲で確認さ、近年にない状況となりつつあるとのことです。

日本海における移動予測計算の結果によれば、津軽海峡には9月上旬に到達するとのことです。より早まる可能性もあり、注意が必要です。今後の情報にご注意ください。

6月の漁況

- 延べ操業隻数は2,288隻で前年比73%、総漁獲量は404トンで前年比60%でした。
- 底びき網漁業の漁獲量は204トンで前年を上回りました。タイ類、ハタハタ、ホッケおよびスルメイカは前年を上回り、ヒラメ、ムシガレイ、ヤナギムシガレイ、アンコウ、ウマヅラハギ、タコ類および紅エビは前年を下回りました。
- はえなわ漁業の漁獲量は24.8トンで前年並みでした。ブリ類およびクロマグロは前年を上回り、タイ類およびメバル類は前年を下回りました。
- 定置網漁業の漁獲量は41.2トンで前年を下回りました。ヒラメは前年を上回り、ウマヅラハギ、トビウオ、フグ類、ブリ類、およびアジは前年を下回りました。
- 採貝藻漁業の漁獲量は23.7トンで前年を下回りました。サザエは前年を上回り、アワビ、ナマコおよびモズクは前年を大きく下回りました。
- その他の漁業では、ごち網漁業のタイ類、一本釣り漁業のメバル類およびかご漁業のバイ類が前年を上回り、いか一本釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のヒラメおよびメバル類は前年を下回りました。

* 前年比は平成26～30年までの平均値と比較した値です。
 * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
 * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量 単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	170	305	449	170	294	217	166	517	2,288	96%	73%
総漁獲量	15,016	12,156	101,326	60,888	76,338	29,814	6,907	101,938	404,384	76%	60%
前年比	140%	87%	46%	84%	130%	91%	211%	85%	76%		
前年比	95%	58%	33%	83%	90%	63%	103%	87%	60%		

底びき網漁業 単位: 隻、kg

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	26	70	71	18	106	291	78%	73%
タイ類	84	15,293	204	47	455	16,082	236%	222%
ヒラメ	422	406	921	270	218	2,237	125%	38%
マガレイ	1,961	1,965	4,135	860	153	9,074	92%	111%
ムシガレイ	1,049	664	2,098	965	774	5,550	120%	78%
ヤナギムシガレイ	595	293	1,214	698	110	2,910	107%	42%
ハタハタ			18	78	2,344	2,440	416%	154%
ホッケ	82	44,070	2,604	459	5,482	52,697	574%	1223%
アンコウ	400	519	1,613	256	539	3,326	89%	57%
ウマヅラ	3	1,406	49	1	27	1,486	43%	34%
スルメイカ	1,536	761	26,466	2,485	32,641	63,888	350%	401%
タコ類	92	96	387	186	797	1,559	43%	34%
紅エビ(ホッコクアカエビ)					8,330	8,330	44%	59%
マダラ	233	4,405	869	556	1,667	7,729	53%	86%
その他	1,233	8,287	8,101	2,642	6,697	26,961		
計	7,689	78,166	48,678	9,503	60,233	204,269	162%	156%
前年比	202%	223%	224%	108%	106%	162%		
前年比	111%	219%	175%	78%	125%	156%		

はえなわ漁業 単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	1	68	33	13	19	31	77	94	336	122%	98%
タイ類		1,838	1,080	656	121	220	1,089	1,644	6,648	48%	44%
メバル類(※)		87	11	19	8	13	39	47	224	14%	17%
ブリ類			241	11	47	11	455	1,096	1,860	921%	123%
クロマグロ(30kg未満)		1,757	1,635		377	546	1,964	1,974	8,253	-	436%
クロマグロ(30kg以上)	168	1,311	740		1,369	1,362	664	1,372	6,986	-	1842%
その他		129	95	57	19	35	362	119	816		
計	168	5,122	3,802	743	1,939	2,186	4,572	6,252	24,785	145%	111%
前年比	22%	159%	133%	83%	115%	79%	162%	292%	145%		
前年比	26%	181%	91%	175%	131%	83%	103%	108%	111%		

(※)アカラ(ハツメ)を含む

定置網漁業 単位: 隻、kg

支所	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	9	39	18	13	81	92%	85%
ヒラメ	31	597	215	1,497	2,340	167%	163%
ウマヅラ	91	877	597	817	2,382	250%	59%
トビウオ	259	1,005	284	149	1,697	27%	27%
フグ類	110	1,385	1,297	1,475	4,267	24%	31%
ブリ類	1,086	4,724	3,999	1,579	11,393	60%	32%
アジ	529	7,400	155	6,660	14,745	114%	77%
その他	294	2,124	890	1,022	4,340		
計	2,399	18,113	7,437	13,198	41,164	64%	48%
前年比	37%	83%	52%	59%	64%		
前年比	24%	65%	31%	56%	48%		

採貝藻漁業 単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	90	80	47	49	88	63	67	195	679	118%	73%
アワビ	54		23		1	4		12	94	71%	14%
サザエ	308	1,208	108	910	2,904	1,027	691	2,801	9,956	438%	232%
イワガキ	4,767		3,342		1,033	175	1,092	1,881	12,288	182%	99%
ナマコ	140		272	12	23			2	449	13%	19%
モズク					39	51	38	14	142	4%	2%
その他	328	15		174	227	29		31	805		
計	5,596	1,223	3,746	1,097	4,227	1,285	1,820	4,740	23,733	127%	82%
前年比	102%	46%	91%	489%	151%	109%	432%	272%	127%		
前年比	90%	49%	70%	116%	100%	36%	87%	114%	82%		

※採貝藻漁業の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

その他の漁業 単位: 隻、kg

漁業種類	いか一本釣り漁業	さし網漁業				ごち網漁業	一本釣り漁業	かご漁業	ばいかご漁業
延べ操業隻数	73	436				58	138	107	14
総漁獲量(kg)		12,549				15,782	2,427		
前年比		168%				122%	134%		
前年比		94%				185%	63%		
対象魚種	スルメイカ	ヒラメ	キス	メバル類(※)	タイ類	メバル類(※)	バイ類	バイ類	
漁獲量(kg)	15,325	508	981	103	12,913	1,136	6,278	7,078	
前年比	7%	111%	368%	40%	112%	172%	213%	-	
前年比	5%	45%	96%	8%	184%	133%	157%	111%	

(※)アカラ(ハツメ)を含む

最上丸の調査予定(7月中旬～8月上旬)

- 酒田、由良、鼠ヶ関沖で海底耕うんを実施します。
- 稚魚調査(マガレイ、マダイ、ヒラメ)を行います。
- 休漁期間中の底びき網漁場状況を沖合礁にて調査し、情報提供します。

みなさま、調査への御協力
 よろしくお願ひします。

